

県南家保だより



平成26年7月1日
栃木県県南家畜保健衛生所

暦は7月となり夏真っ盛り！もう少しすると、学校も夏休みの時期を迎え、「離れて暮らす子供や孫が帰郷してくるのが待ち遠しい♪」という方、いらっしゃるのではないのでしょうか。リフレッシュのために旅行に出かける方、ご家族が海外旅行に行かれる方もいらっしゃいますよね。また、お祭りや野外ライブなど大勢の人が集まるイベントもたくさん始まりますね。楽しい時間を過ごして、ストレスを解消することは、健康にとってはとても良いことです。日頃の疲れを癒して、今後の鋭気を養いましょう！

さて、ここで一つ。帰郷したばかりのお孫さんが「じいじ〜」と畜舎の中に走ってきました。後ろからお嫁さんが海外旅行のお土産を持って、笑顔いっぱい追いかけてきます。幸せのコマですが、家畜を飼養する私たちにとって問題となるのがいくつかあったこと、お気づきになりましたか？



おじいちゃんにすぐに会いたい♪ 家畜だって大好き！

可愛いお孫さんの言葉、嬉しいですね。しかし、家畜伝染病予防法に基づく飼養衛生管理基準では、「衛生管理区域に立ち入った人」の記録をし、1年以上保存することを義務づけています。毎日、飼養管理をされている人以外の方が、畜舎等の衛生管理区域に出入した場合には、その日時や名前、所属等を必ず記録しなければなりません。可愛いお孫さんでも離れて暮らす方が畜舎に入る時は、必ず記録をしてください。

そして、さらに気を付けなければならないことが、消毒です。遠く離れて暮らす家族が普段どのような生活をしているかはわかりませんね。もしかしたら、昨日は遠足で牧場にいったかも知れませんが、畜産農家のお友達の家に遊びに行っていたかも知れませんが、大勢の人が集まる場所では、ウイルスが付着する可能性も高くなります。昨日はお祭りに行っていましたか？飼養衛生管理区域に立ち入る場合には、車・人・物の全てを必ず消毒するようにしましょう！



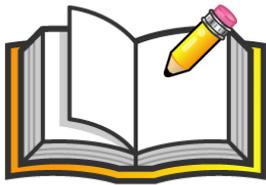
そんなの記録してなんの役に立つの？ 大変なだけだよ！

万が一、ご自分の農場で家畜伝染病が発生したら、近所の農場で発生したら、みなさんは何を考えますか？「どこから感染してしまったのだろう？」、「この間、〇〇さんが畜舎に来

たけど大丈夫かな」、「うちも感染しているのかな?」、緊急対応を迫られる中で、いろいろと心配事が増えますよね。

そこで重要になるのが、「衛生管理区域に立ち入った人」の記録と保管です。きちんと記録しておけば、感染ルートや感染する可能性がある場所等を早急に把握することができるため、感染が拡大する前に防疫措置をとることができます。

ご自身や仲間、地域の畜産業を守る気持ちがあるならば、“自分は大丈夫”“〇〇さんだったら平気”ではなく、“もしかしたら…”の気持ちを忘れずに適切な実施をお願いいたします。



絶対にファイルや帳簿に記録しなくてはならないの？

そんなことはありません。もちろん、ファイルや帳簿としてまとまっているのが最も良い状態と言えます。しかし、餌やさん、獣医さん、農協さん、等々、毎日の作業の中で、これら全員を記録することは大変だと思います。

そこで、餌であれば、飼料の納品書、獣医さんなら診療記録等、誰がいつ何を目的に来たのかがわかる資料を必ず1年間は保管しておいてください。農協さんや家保職員、農場見学に来た小学生…、このような記録が残らない場合は、帳簿に記録しておく必要があります。帳簿でなくても、畜舎や事務所に貼ってあるカレンダーやいつも持ち歩いている手帳でも構いません。必要事項をしっかりと記録し、やはり1年間は保管しておいてください。

カレンダーに書いた場合は、「月が替わったから~♪」とビリビリッと破いて捨てることのないようにお願いしますね。

—昨日、帰ってきました♪



海外旅行のお土産はアジアの民芸品。
畜舎に飾ったらちょうどいいな！

お嫁さんの気遣い、素敵ですね。でも、ちょっと待ってください！

アジア地域を始めとする海外諸国では口蹄疫や鳥インフルエンザ等の家畜伝染病が現在も頻繁に発生しています。飼養衛生管理基準では、「衛生管理区域に立ち入る者に対して、当日の他の畜産関係施設等への立ち入りの有無や過去1週間以内の海外からの入国歴(渡航歴)を確認し、必要がある場合を除いて、立ち入らせないようにしている」という項目があります。このような場合は、畜舎等の衛生管理区域には立ち入らないようにしてもらい、自宅等でお土産を受け取りましょう。畜舎に合う民芸品も、可能な限り衛生管理区域以外に飾るようにします。どうしても持ち込む必要がある場合には、消毒を行い、可能な限り期間を空けてから持ち込むようにしましょう。

家畜伝染病予防には、御家族だけでなく、お友達や近所の方、みなさんの協力が必要です。地域全体で家畜を守っていきましょう！